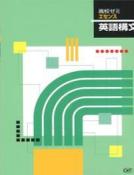
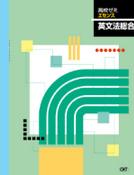


# 進学指導型モデル学習プラン

# 英語(文系・理系共通)

モデルケース:安定した基礎学力をもとに演習中心の学習を進めより高い志望校を目指す生徒

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
高1	 エッセンス英語 I			 高ゼミサポート select II 英語 I			 セミナーワーク英作文 VOL.1			 高ゼミサポート select III 英語 I			 高ゼミサポート select I 英語 I のまとめ
ワンポイントアドバイス	<p>高1は、主に英文法の基礎固めを行います。「高校ゼミ エッセンス英語 I」を軸にして、「高校ゼミサポート select II 英語 I」「高校ゼミサポート select III 英語 I」を行うことで、問題演習量を増やします。講習テキストで問題演習を行う中で、分からない所があれば、そのつど「高校ゼミ エッセンス英語 I」に戻り、基本事項を確認するという学習法を繰り返します。9月以降は、基礎レベルの「高校ゼミ セミナーワーク英作文 VOL.1」を行うことで、文法の応用力を身に付けながら、英作文にも慣れていきます。英作文は、問題を見ただけで考えなくても自然に手が動くくらいになるまで演習量をこなします。また、高1の段階から単語ノートを作り、知らない単語が出てくるたびに、辞書を引いて単語ノートに書く習慣を付けるとよいでしょう。</p>												
高2	 エッセンス英語 II			 高ゼミサポート select II 英文解釈			 セミナーワーク英作文 VOL.2			 エッセンス英語構文		 高ゼミサポート select I 英語重要構文	
ワンポイントアドバイス	<p>高2は、「高校ゼミ エッセンス英語 II」を軸にして、「高校ゼミサポート select II 英文解釈」「高校ゼミ エッセンス英語構文」「高校ゼミサポート select I 英語重要構文」等を通して英文の構造を把握し、入試における頻出パターンを覚えます。時間的に余裕があれば、7～8月に「高校ゼミサポート select II 英文解釈」の代わりに「高校ゼミ エッセンス英文解釈」を行うことができれば、より英文に対する理解を深めることができるでしょう。また、1冊のテキストを最低2回は反復学習することをお勧めします。余裕があれば3回反復します。1回目よりも2回目、2回目より3回目の方が、問題を解くスピードは上がっていき、理解度も増していきははずです。</p>												
高3	 エッセンス英語長文	 エッセンス英文法総合	 プラクティス英語	 高ゼミサポート select II 英語長文	志望校の過去問題開始 →		 セミナーワーク 英文法英文読解(基礎)	 センター試験 40分模試英語		 高ゼミサポート select III 英語長文			
ワンポイントアドバイス	<p>高3は、主に長文読解に力を入れて、夏頃から志望校の過去問を行います。10～11月頃から「センター試験 40分模試 英語」を使って、センター試験対策も行います。長文読解の練習のコツは、分からない単語があってもそこで立ち止まらず、意味を推測しながら読み進める訓練をすることです。「高校ゼミ エッセンス英語長文」「高校ゼミサポート select II 英語長文」「高校ゼミサポート select III 英語長文」など、様々なタイプの長文問題に触れることで、入試への実践力を磨きます。高3の段階で文法に不安がある場合は、「高校ゼミ エッセンス英文法総合」を使って、文法事項の総仕上げをすることをお勧めします。目安としては、通年テキスト→3～4ヵ月、講習・単発テキスト→1～2ヵ月で終わらせていく、速習型のプランです。</p>												